



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2023 **12** 月号
Vol.154
毎月1回発行(通巻154号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.JMMPA.jp/>

第2回医療経営士実践研究大会東北支部大会

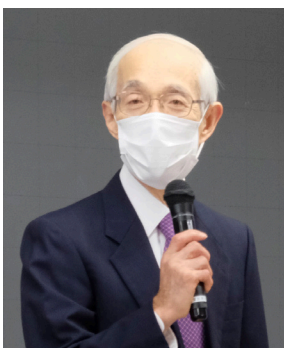
全国大会の熱を地域支部でも! 東北支部が支部大会を開催



全国大会の演題発表を再演した
安藤寛知氏



長英一郎氏はスマートグラスを
装着して登壇



開会挨拶を行った濃沼信夫東北
支部支部長

**診療報酬改定後も見据えた
最先端の現場状況を知る**

最初に東北支部支部長である濃沼信夫氏が挨拶に登壇。支部大会開催の意義について「1つは新しい知識を身につけること。今大会

日本医療経営実践協会東北支部は12月9日、東北福祉大学仙台駅東口キャンパスで第2回となる医療経営士実践研究大会東北支部大会「進化する医療経営とその成長戦略——医療経営士が想像する病医院の未来像in仙台」を開催した。昨年の第1回大会はオンラインで行われたが今回は会場での開催となり、当日は医療経営士を中心に約50名が会場に参加。講演や実践報告に耳を傾けた。

の講演や発表を通じて新たな情報を得るだけでなく、多様な場で活躍する医療経営士がそれぞれの持ち場で何をやっているのかを学ぶことが大切。2つ目は医療経営士同士の情報交換。職場で孤立して仕事をしている状況もあると思うが、それを突破するために顔と顔を合わせて情報交換することは意義深いのではないかと語り、医療経営士間の活発なコミュニケーションにも期待を寄せた。

続いては医療経営士1級/医療経営指導士の長英一郎氏(東日本税理士法人所長)による特別講演「2024年度診療報酬改定、医療機関のデジタル化をふまえて」が行われた。冒頭、スマートグラスを装着して登壇した長氏は、その映像を会場のスクリーンに映しながら「訪問看護で

の講演や発表を通じて新たな情報を得るだけでなく、多様な場で活躍する医療経営士がそれぞれの持ち場で何をやっているのかを学ぶことが大切。2つ目は医療経営士同士の情報交換。職場で孤立して仕事をしている状況もあると思うが、それを突破するために顔と顔を合わせて情報交換することは意義深いのではないかと語り、医療経営士間の活発なコミュニケーションにも期待を寄せた。

「リクルートに限らず患者セミナーの案内や診療予約等にも使えるのではないかと提案した。

診療報酬の改定については「物価高騰」「人材確保」「医療DX」というテーマごとに中医師の資料を抜粋しながら解説。「物価高騰」については建築費が高騰しているなか、新築にこだわらず改築・改修も含めて知恵を絞ることが不可欠だと強調。「人材確保」においては紹介手数料が上がるなか自力で採用することが大事とし、SNSの積極的な活用、特に直接情報を届けられるLINE公式アカウントの活用については

看護師が見た映像を通して遠隔でアドバイスするなどいろいろ考えられる」と話し、最新機器へのアンテナを張っておくことの重要性を説いた。



参加者で教室がいっぱいの東北支部大会

医療経営士 3級 資格認定試験

受験エントリー

2024年
1月5日金
まで!

同僚や
知り合いの方に
ご紹介ください

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **2024年 2月18日**

受験エントリー期間 **2023年12月5日火~2024年1月5日金**

受験料支払締切日 **2024年1月6日土**

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください

第41回「医療経営士3級」

受験料 **9,100円(税込)**
※手数料別途

受験資格 年齢、学歴、国籍等の制約はありません

試験会場 (予定) 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・金沢・広島・高松・福岡・那覇

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめてお申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります

「医療DX」については翻訳ソフトや生成AI分野は厚生労働省も前向きであり、ほとんど進んでいくのではないかと述べたうえで、ChatGPTが急速に進化していることに言及。診療録や看護記録の要約に使用すれば大きな時間短縮になるとし、実際に作成したBottmを使った文章を例示しながら医療DXが導く新たな未来を提示した。

全国大会の演題発表再現等 医療経営士からの発信も

次に一般財団法人大原記念財団大原綜合病院中央病歴管理室室長の安藤寛知氏が登壇、10月に開催された全国大会の演題発表でイン



鎌倉克行氏はタイプ別ク
レーム対応術を伝授



コスト削減の具体的手法
を説いた金田圭悟氏



みやぎ仙台ネットワーク
世話人の佐竹直也氏

バージョン賞を受賞した「PHRシステムの導入・活用による顧客満足度向上への取り組み」を改めて発表。全国大会に参加できなかった方にとっては受賞発表を聞ける貴重な機会となった。

発表後には、自身の講演でもPHRの話をしてきた長氏から患者情報の公開範囲についての質問があるなど、全国大会からさらに議論を深める場ともなった。

後半は東北支部の医療経営士自主研究会である「みやぎ仙台ネットワーク」とのコラボレーション企画として開催。同ネットワーク世話人である医療法人松田会事務部長の佐竹直也氏が司会を務め、医療法人松田会事務部長の金田圭悟氏、一般財団法人杜の都産業保健会精度品質マネジメント室長で放射線技師の鎌倉克行氏の2名が登壇した。金田氏は自院で取り組んだコスト削減についての具体的なアプローチを紹介、鎌倉氏はクレームを増収につなげるための対応法について解説した。

終了後には懇親会も開催、講演内容の深掘りだけでなく日常の困りごとについて意見交換がなされるなど、地域の医療経営士同士による交流が図られた。

支部NEWS

特別版

2023年の支部活動を 振り返る

コロナを乗り越えて現地開催も増加 全国で支部研究会が活性化



2020年からのコロナ禍で医療経営士の支部活動も縮小を余儀なくされていたが、2023年に入りコロナが落ち着いてきたこともあり、以前の活況を取り戻してきた。早くからオンラインに移行して活動を続けていた研究会でも、会場に集まったの現地開催を再開したところもある。

全国大会も4大会ぶりに会場開催となった今年、各支部ではどのような活動が行われていたのか、振り返ってみよう。

活発に行われた自主研究会活動 新たに発足した研究会も

北海道支部の「道北医療経営ネットワーク」は3月と9月の2回、それぞれ「病院経営の戦略的コスト削減」「マネジメント人材の採用と育成」をテーマにWEBセミナーを開催した。3月の研究会では申し込みが100人を超える等、活動が地域に浸透している様子がうかがえる。東北支部では「みやぎ仙台ネットワーク」が偶数月の隔月開催を継続的に実施。8月に行われた第17回では青森勉強会との合同開催という形で事例報告会を行うなど、仙台だけでなく東北地域全体の医療経営士活動を盛り上げていこうという思いが新たな展開を産み出している。

関東支部では、神奈川研究会が奇数月の隔月開催で6回開催。コロナ禍において全国でもいち早くオンライン開催を行うなど、スピーディかつフレキシブルな動きができるのが

神奈川研究会の強み。今年も試験的に会場開催を行うなど、常に新たなチャレンジを行う姿勢は、支部研究会のトップリーダーにふさわしいと言えるだろう。

ちば研究会は7月と11月の2回、「電子処方箋」「LGBTQ対応」というタイムリーなテーマで開催。昨年発足した「もっと幸せな医療研究会」は今年も3回の研究会を実施。12月には外部講師を招いてウェルビーイングをテーマに開催している。また11月には新たに東京都西部の多摩地域を中心とする多摩研究会が発足、支部長の安藤高夫氏を招いて第1回の研究会を行った。今後のさらなる活動に期待したい。

10月に開催された全国大会で支部研究会としての発表を行った関西医療経営勉強会では4回の勉強会を開催。講師に松下記念病院名誉院長の山根哲郎氏を招くなど、テーマと講師に工夫を凝らしたオリジナルな活動が目をつけた。九州支部においては沖縄県自主勉強会が3月に人事業務にフォーカスした勉強会をハイブリッド開催。医療経営を学んでいる現役の大学生による発表も行い注目を集めた。

支部主催の研究会も 多彩なテーマで

支部が主催する勉強会も各地で開催された。東海支部では医療経営指導士の松田行生氏を講師とした「基礎から学ぶ経営分析コース医療塾ワークショップ」(全4回)を実施。経営分析をテーマとした集合型のワークショップで

医療経営士同士のネットワークづくりの場ともなった。

関西支部で定期的に開催している3経営士(医療経営士・介護福祉経営士・栄養経営士)合同研究会では、7月に岸和田徳洲会病院での院内見学と講師を招いての講義をミックスさせた研究会を実施、11・12月にはACPと成年後見制度について学ぶ研究会を2回に分けて開催するなど新たな企画も行った。3経営士を横断して行うからこそその幅広いテーマ設定が、医療経営士の視野を広げる役割も果たしている。さらに有限責任監査法人トーマツの古株靖久氏を講師に迎える人気の講座「“イチ”からわかる病院経営オンライン塾」(全5回)は、10月からシーズン4がスタートしている。

九州支部では7月に2日連続で研究会を開催した。初日は自組織に医療DXを浸透させた事例の報告、2日目は医療情報システムの安全管理に関するガイドラインへの対応事例と、医療DXというテーマを別の角度から取り上げ、多角的な学びの場を提供した。

2024年も各地域でさまざまな研究会が予定されており、4月の診療報酬・介護報酬改定に関連するものも多く開催される。医療経営士の皆さまにはぜひ地域の研究会に参加していただき、新たな学びを得ることはもちろん、地域での医療経営士同士のネットワークを構築していただくことを願っている。

日本介護福祉経営人材教育協会 主催

介護福祉経営士未来会議2023開催

ICT×マネジメントを 介護福祉経営士が語り合う

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は11月22日、「ICTとマネジメントが拓く未来——地域共生を実現する介護福祉経営」をテーマに、オンラインで「介護福祉経営士未来会議2023」を開催した。当日は介護福祉経営士のほか、医療経営士も参加、介護福祉経営の現場からの声に耳を傾けた。

ICTの効果的な活用は 介護福祉経営士が導く

今回の未来会議で司会を務めたのは、本間総合法律事務所代表の本間悟氏。ほか、パネリストとして石本良樹氏（社会医療法人美杉会グループ法人事務局）、岡田知美氏（合同会社カシユアル訪問介護みちびき）、佐久間竜太氏（社会福祉法人南幌福祉会）、林和美氏（株式会社大塚商会）が登場。司会の本間氏を含めた5名の介護福祉経営士が、ICTとマネジメントを通して地域住民が互いに支え合いながら暮らし続けることができる社会の実現に向けた介護福祉経営について討論した。

「ICTの導入に関する課題」では、スタッフの高齢化等もあり現場で使いこなすのが難しいケースがあるという話について、「ICTは導入したから効果が出るものではなく、職員が使いこなして初めて効果が出るもの。一時的に生産性が落ちることを職員にもしっかりと伝えながら進めた」（佐久間氏）、「日頃からコミュニケーションができていて年齢差を超えて職員同士で教え合うような雰囲気にもなる。職場の人間関係を普段から見てもよくことも大

事」（石本氏）、「多忙なスタッフが教える時間を取ることが難しい。使い方がわからないときにはメーカーのサポートセンターが対応してくれるようになっていく」（岡田氏）といった、現場で実践しているからこそリアルな意見が交わされた。

また地域とのつながりを深めるためのICT活用については、SNSを通じた情報発信のメリットが語られる一方で、「動画等を1回上げてしまうとその波及は計り知れないところがある。セキュリティの問題も含め運用ルールはきちんと考えていく必要がある」（林氏）と安易な情報発信の危険性についても言及されるなど、ICT活用の功罪についてもさまざまな議論が行われた。

医療×介護福祉経営士で 現場の改革を成し遂げよう

その他、ICT導入における補助金の申請・活用に関する話や導入における失敗談など、最前線で活躍する実践者のリアルな本音が聞けた同会議。最後は司会を務めた本間氏が「介護業界のICT普及の遅れが指摘されて久しいが、皆さんの話を聞いてその壁となっているものが何か、そして

その壁を乗り越えるための方策が見えてきた」と述べ、これからの介護福祉経営士の活躍に期待を寄せた。来年度の診療報酬・介護報酬の同時改定に向けた議論が進んでいるが、医療機関と介護施設間の情報共有の重要性がこれまで以上に高まってきているように見える。お互いの情報共有を密にしていくためにICT化を進めていくことは不可欠であり、そこには医療経営士と介護福祉経営士との連携が大きな力を発揮するのではないだろうか。両経営士の相乗効果で現場の課題解決を行う事例が増えてくることを期待したい。



ライブ配信が行われた介護福祉経営士未来会議

月刊 医療経営士

次代を担う
医療経営人財を
サポートする
“医療経営士応援マガジン”



特集
1月号
好評発売中!!

ESGと病院経営

実践における医療経営士の役割を考える

企業においては「Environment（環境）」「Social（社会）」「Governance（企業統治）」の3つの要素を重視したESG経営が重視されるようになってきています。多くの医療機関が社会や地域への貢献を理念に掲げているものの、ESG経営への意識は高いとはいえないのが現状。特集では、ESGと病院経営について考えます。

詳細・ご購入は
コチラ



事務局掲示板

第5回(2023年度)懸賞論文
「日本医療経営実践賞」
受賞記念講演を特設サイトにて公開開始

2023年度「医療経営に関する研究助成」で懸賞論文「日本医療経営実践賞」を受賞した4名の受賞記念講演の動画を特設サイト上で公開しました。「医療経営士として診療報酬改定等の取組事例一経営改善・業務改善にエクセルの活用一」で最優秀賞を受賞した西脇市立西脇病院事務局次長の藤井敬也氏のほか、優秀賞を受賞した3名の講演が視聴可能です。

【「医療経営に関する研究助成」特設サイト】

https://www.jmmpa.jp/association/archive/grant_6/cl/

会報誌『理論と実践』投稿募集中
自分の声を会員に届けよう

当協会が発行している会報誌『理論と実践』では、会員の皆様からの投稿を募集しています。日頃の職務における疑問や悩みから、業務改善へ向けたアイデア、病院経営や医療政策・制度に関する論文や問題提起等、内容は自由です。採用原稿については薄謝を進呈いたします。お気軽にご投稿ください。

【お問い合わせ先】

日本医療経営実践協会事務局
03-3553-2906 info@jmmpa.jp

PICK UP 研究会

協会本部

令和6年新春特別講演会は海道利実氏が登壇
2月1日(木)より会員向けWEB配信

毎年医療業界内外から第一線で活躍されている有識者を招き、会員にとって刺激となる内容を講演いただく「新春特別講演会」。令和6年は聖路加国際病院消化器・一般外科部長として医療現場の最前線に立ちながら、人材育成・組織改革にも積極的に取り組まれてきた海道利実氏の登壇が決まった。

テーマは「医療人における“仕事力と人間力”」。消化器外科医として臨床や研究を行うなかで、「医療にもビジネスの考え方を取り入れるべき」としドラッカーのマーケティング、イノベーションといった理論を実践し、数々の実績を残してきた海道氏の話や、仕事への取り組み方はもちろん、社会人として、人間としてどう生きるべきなのか、新たな年を充実した1年にするためのよすがとしていただきたい。

医療経営士(会員)は事務局より送付する視聴用URLから無料で視聴できる。2月1日(木)より視聴開始。

■会員限定オンデマンド配信期間:

2024年2月1日(木)~2月29日(木)

※3月1日(金)より一般視聴可

■参加費: 無料

■講師: 海道利実 先生



かいどう・としみ ●学校法人聖路加国際大学
聖路加国際病院 消化器・一般外科部長/医学博士

1963年福井市生まれ。1981年福井県立藤島高等学校卒業。1987年京都大学医学部卒業後、京都大学外科学教室入局。1996年京都大学大学院医学研究科博士課程修了。1999年京都大学腫瘍外科助手。2001年大津市民病院外科医長。2009年京都大学肝胆脾移植外科・臓器移植医療部准教授。2019年10月より現職。主な著書に『仕事力は人間力〜聖路加国際病院外科部長からの12のメッセージ〜』(へるす出版)、『もし大学病院の外科医がビジネス書を読んだら〜仕事や人生が楽しくなる“深い話”〜』(中外医学社)など。

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
1月18日(木)	関西	“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾 第4回「病院経営戦略の策定と実行を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)
1月20日(土)	関西	第35回関西医療経営勉強会 「震災ボランティア経験とその後の行動変容」	福井泰志氏(株式会社リブドゥコーポレーション経営企画室)
1月22日(月)	九州	2024年度介護報酬改定のポイントと対策	小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表)
2月9日(金)	東北	第20回みやぎ仙台ネットワーク 中医協ウオッチのススメ(仮)	須藤 夏樹氏(IMSグループ 本部 経営戦略部)
2月15日(木)	関西	“イチ”からわかる 病院経営オンライン塾 第5回「病院経営の改善手法を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

医療経営士募集

高度な医療を支える医療経営士募集。
大分大学病院でスキルアップしませんか？

1. 職種・募集定員

任期付常勤職員(3年)又は常勤職員…1名

※3年の任期内に希望を確認の上、面接試験等を実施し、合格した場合は無期の常勤職員へ 身分異動を行います。

2. 採用予定年月日

令和6年(2024年)4月1日

※採用日より6ヶ月間は試用期間(労働条件同一)

※採用日については相談に応じます。

3. 配属先

医学・病院事務部 経営戦略課

4. 応募資格

医療経営士の資格を有する方

5. 募集期限

令和6年(2024年)1月26日(金)

採用が決定しない場合は、募集継続します。

右記URLに掲載しておりますので確認願います。

6. 問い合わせ等

大分大学医学・病院事務部総務課人事係 宛

待遇等の詳細や応募書類等については

下記URL又はQRコードよりご確認ください。

<https://www.med.oita-u.ac.jp/kyujin/20231010keiejimu/20231010keiejimu.html>



OITA UNIVERSITY
大分大学